

座談会

出席者  
星野敦子さん  
清水フミさん  
中山雅子さん  
藤村静枝さん  
保倉シズさん

生涯学習を語る

生涯学習ってなんだろう...そんな問いかけから始まったシリーズ生涯学習の三回目。今回は「生涯学習を語る」と題し、サークル「ふきのとう」の皆さんにお集まりいただきました。皆さんは「学習のしかたを学ぶ」のも学習の一つと四年前から自主的なグループ学習を進めています。

自分に投資を

司会(広報) 今日皆さんが日ごろのサークル活動を通じて、生涯学習をどのように受け止めておられるのか、話し合ってくださいと思います。

星野 生涯学習について、ということですが、私には少々荷が重いのですが、あえて話し合いをお受けして、皆様のご指導をいただくといいことではないでしょうか。

司会 どうぞお話しください。藤村 グループ学習でも個人の学習でも同じだと思いますが、忙しい、忙しいと言っているのもできないんですよ。

保倉 やりくりをしないこと。中山 母親って、子どもには投資するけれど、自分のためにはなかなか投資できないわ。

毎日が生涯学習

中山 それに自分の能力以上のものを求めたり、苦痛を感じたりしたらダメ。無理をすると逆にストレスがたまると見え張ってはいけない。「これだけの時間はだいたいようぶ」と言える範囲の中で、自分に向くもの



清水フミさん(目出町)



藤村静枝さん(中央通)

中山 そう、何がいちばん問題かということ、適切なテーマを見つけることなんですよ。みんなが情熱を燃やしてやれるもの、興味をもって持続しているもの、オーバーヒートしないもの。清水 落ちこぼれや落ちこぼしが出ないもの(笑) 星野 そこで「白根絞りの掘り起こし」を学習課題に決定したわけですが、二百年前、先人が築いたこの白根の伝統工芸を、何とか私たちの手で掘り起こしたいと考えたのです。

星野 私たちのこの会というのは、何か学びたい、良い友達を作りたい、言葉で代えて言うなら少しキザですが、人間の生き方の美学を学ぶための会なんです。いいところをお互いに学び合って、一度しかない人生を有意義に送りたいという。...

星野 私たちの会は、お客様気取りはダメ。必ず一人一役。清水 そう。案内状を書く人、司会をする人、あいさつをする人、みんなが役割を持って運営している。

保倉 おもしろいことに、この人にこんな面が、と新しい発見をしたり、逆に自分で自分の意外な才能にびっくりしたり。星野 そのためにわざと小グループに分けているのよ。今回の絞りだったら資料班、実技班、

個性を生かす

中山 私たちの会は、お客様気取りはダメ。必ず一人一役。

清水 そう。案内状を書く人、司会をする人、あいさつをする人、みんなが役割を持って運営している。

保倉 おもしろいことに、この人にこんな面が、と新しい発見をしたり、逆に自分で自分の意外な才能にびっくりしたり。星野 そのためにわざと小グループに分けているのよ。今回の絞りだったら資料班、実技班、



中山雅子さん(五六の町)

保倉 おもしろいことに、この人にこんな面が、と新しい発見をしたり、逆に自分で自分の意外な才能にびっくりしたり。星野 そのためにわざと小グループに分けているのよ。今回の絞りだったら資料班、実技班、



星野敦子さん(東町)

司会 皆さんのサークル活動について少しお話しください。星野 母体は婦人学級です。六十一年から自主運営のよちよち歩きが始まり、今年で四年目。「仲間作り」や「学習の方法を学ぶ」ことなどを重点に、学習を進めてきました。...



保倉シズさん(中央通)

生き方の美学

司会 皆さんが「ふきのとう」に入ったのは、子どもも大きくなったし自分の時間も持てるようになった。さて、何か始めなくてはと思っていたやさきにこのサークルを知ったから。

私たちの生涯学習

星野 でも、私たちのようにゼ口から始めて、構想を立て、独力で道を探しながら勉強していくのは、確かに難しいわ。よく大学あたりから先生を連れてきてやる勉強会があるけれど、あれは簡単。

中山 そう。必要なのは、適切な助言をしてくれる指導者ね。保倉 引っ張っていつてくれるリーダーも大事。

星野 ある本の中に、生涯学習の定義について書いたのを見つけたので、紹介します。一つは「人間らしさを高めるための生涯学習」。例えば、若い人たちがお年寄りから学ぶことかしら。核家族化が進んで、家庭の中で学ぶ機会が少なくなっているから、生涯学習の必要性が言われている。